

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。

注意事項等情報改訂のお知らせ

躁病・躁状態治療剤

炭酸リチウム錠

炭酸リチウム錠 100mg「アメル」

炭酸リチウム錠 200mg「アメル」

劇薬
処方箋医薬品
注意—医師等の処方箋により使用すること

Lithium Carbonate Tablets [AMEL]

2024年2月

共和薬品工業株式会社

大阪市北区中之島3-2-4

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、『炭酸リチウム錠 100mg、錠 200mg「アメル」』の【注意事項等情報】を改訂致しますので、ご使用に際しましては、下記内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

【改訂内容】(下線—部 改訂箇所)

改訂後			現行電子添文 (2023年12月改訂)		
10. 相互作用 —現行のとおり—			10. 相互作用 —略—		
10.2 併用注意 (併用に注意すること)			10.2 併用注意 (併用に注意すること)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
—現行のとおり—			—略—		
メトロニダゾール [7、8.5、11.1.1 参照]	リチウム中毒を起すとの報告がある。	機序は不明であるが、血清リチウム濃度が上昇するおそれがある。	メトロニダゾール [7、8.5、11.1.1 参照]	リチウム中毒を起すとの報告がある。	機序は不明であるが、血中リチウム濃度が上昇するおそれがある。
—現行のとおり—			—略—		
麻酔用筋弛緩剤 スキサメトニウム塩化物水和物等	左記薬剤の筋弛緩作用が増強されることがある。	機序は不明である。	麻酔用筋弛緩剤 スキサメトニウム塩化物水和物等	左記薬剤の筋弛緩作用が増強されることがある。	機序は不明である。
エンパグリフロジン ダパグリフロジン カナグリフロジン	本剤の作用が減弱されるおそれがある。 なお、左記薬剤を中止する場合には、血清リチウム濃度の上昇に注意すること。	左記薬剤がリチウムの腎排泄を促進することにより、血清リチウム濃度が低下する可能性がある。			

【改訂理由】

以下の項目を改訂し、注意を喚起することと致しました。

自主改訂

「10. 相互作用／10.2 併用注意」の項：

相互作用相手薬記載との整合を図るため、記載整備（血中→血清）及び“エンパグリフロジン、ダパグリフロジン、カナグリフロジン”の臨床症状・措置方法、機序危険因子に関する記載を追加しました。

以上

これらの情報は、2024年3月に発行予定のDSU No.324に掲載致します。

なお、改訂情報は弊社ホームページ <http://www.kyowayakuhin.co.jp/amel-di/> 及びPMDAホームページ「医薬品に関する情報」(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)に改訂指示内容、最新の電子添文並びに医薬品安全対策情報 (DSU) が掲載されます。あわせてご利用下さい。

お問い合わせ先：共和薬品工業株式会社 安全管理部 大阪市北区中之島 3-2-4  0120-041-189